

# 細木あけみ議会だより

## 第8号

発行  
令和6年6月

細木明美事務所

〒690-0332  
松江市鹿島町佐陀本郷27-3  
携帯  
090-4577-8002  
E-mail  
info@hosogi-akemi.jp  
ホームページ  
http://www.hosogi-akemi.jp

### 「熱意が感じられるか。伝わるか。」

先月、総務委員会で、長野県松本市、埼玉県熊谷市、川越市を視察しました。こうした委員会の行政視察は、松江市で進めていること、進めようとしていることを既に実施している自治体に行つて、先進地事例を学び、今後活かしていくために実施しているものです。今回の視察でも、市長の熱意や職員のやる気。住民主体、それを支援する行政という役割分担がしっかりしていること感じました。

また先日、NHK「新プロジェクトX」で海士町の挑戦が取り上げられました。急激な人口減少、財政破綻の危機に追い込まれた海士町が、希望を取り戻すための総力戦。当時の山内町長は、「先ず俺の給料を半分にしてくれ。」そして、「何でもやりたい事をやれ。俺が責任を取る。」と部下を信頼し、また自ら営業もされました。そんな町長の熱意は現場職員にはもちろん、町民にも伝わり、島の未来を守るために総力で立ち向かった姿に感動しました。

「.:はて?。」(朝ドラ寅ちゃんの言葉借りてみました)「松江市はどうだろうか?」松江市にはそれが足りないのか?いや、きつとそうではないだろう(と思いたい)。どんな思いで、何がしたいのか。それにか

ける熱意が周りに伝わることは、施策を進めるうえでとても大事なことだと思いますし、逆に伝わるほどの熱意が必要です。そんなことを改めて感じ、もうすぐ始まる6月議会に臨みます。

ちなみに、総務委員会の視察の内容は以下のとおりです。

(松本市) 松本城の保存・活用と整備基本計画について

(熊谷市) スポーツコミッションについて

(川越市) 重要伝統的建造物群保存地区について

(注) スポーツコミッションとは、スポーツ大会・合宿の誘致及び運営支援を観光・産業部門と連携して行い、スポーツによる活力あるまちづくりに取り組む組織です。

・重要伝統的建造物群保存地区(略称:重伝建)とは、市町村が条例などにより決定した伝統的建造物群保存地区のうち、文化財保護法第144条の規定に基づき、特に価値が高いものとして国が選定したもので、松江市は美保閑地区でこれを目指しています。

細木 明美

### 能登半島地震のその後は...

今年1月1日に発生した能登半島地震。あれから5カ月が経ちました。甚大な被害が出た石川県では、これまでに260人の死亡が確認されました。亡くなった人を自治体別にみると、輪島市が112人。珠洲市が111人。穴水町が20人。能登町は9人。七尾市が5人。志賀町が2人。羽咋市が1人です。この260人のうち30人は、避難生活によるストレスや疲労などを原因とする災害関連死と認定されています。また、輪島

市では今でも3人の行方がわからないということ。地震直後3万4,000人余りにまで上った避難所生活をしている人の数は、現在3,319人と、約1割にまで減少しました。自宅に戻ったり、仮設住宅に入居した被災者が増えたということになりますが、石川県内の住宅被害は8万918棟に上り、必要な仮設住宅の数の7割にあたる4,443戸が完成し、8月中の全数完成を目指しているとのこと。

また、珠洲市や輪島市の一部では、土砂崩れや建物の倒壊が原因で復旧作業が難しく、未だに断水が続いている地域があります。松江市は、昭和63年から珠洲市と姉妹都市の提携をしており、珠洲市への応援派遣をこれまでも継続的にを行っています。罹災証明の発行業務

市では今でも3人の行方がわからないということ。地震直後3万4,000人余りにまで上った避難所生活をしている人の数は、現在3,319人と、約1割にまで減少しました。自宅に戻ったり、仮設住宅に入居した被災者が増えたということになりますが、石川県内の住宅被害は8万918棟に上り、必要な仮設住宅の数の7割にあたる4,443戸が完成し、8月中の全数完成を目指しているとのこと。

### プラバホールがリニューアルオープン! 愛称は「さんびる文化センタープラバホール」

松江市総合文化センターのリニューアルに合わせて、松江市は、初のネーミングライツ(施設命名権)を導入し、(株)さんびると契約を結びました。

昨年10月1日に中央図書館がオープンし、今年4月1日に2年間にわたる工事が完了し、全館オープンしました。総事業費は24億3,000万円。

大ホールの座席を808席から744席とし、座席を広くしてゆつたり鑑賞できる環境になったほか、ホワイエというホールに入る手前の天井の耐震化や、中四国の公共ホー

などを担い、また上下水道局の職員や、今後も土木技術員など中長期派遣を予定しており、ニーズに応じた応援支援を行ってまいります。こうして大きな被害が出た能登半島地震ですが、6月に入って、また震度5強の強い揺れが能登半島を襲いました。予断を許さない状態が長期に続くことに改めて地震の恐ろしさを感じます。そして復興にはまだまだ時間がかかります。島根半島に住んでいる私たちは、この地震からの学びを、これらの生活が安全に続くよう、活かしていかなくてはなりません。



2024年9月末をもって廃止することが突然発表されました。特に、鹿島町御津と島根町の皆さん、そしてこの路線バスを利用している皆さんには大きな衝撃だったと思います。その後の松江市の代替案発表により、御津線についてはコミュニティバスを新設すること、マリンプラザ線については、一畑バスで運行を継続しますが、区間と便数を変更すること。ただし、始発便については、マリンプラザから松江駅まで運行することとなりました。

現在、市の担当課(交通政策課)には、区間や時刻等、詳細の早期発表と、乗り継ぎバス停の整備を要望しております。ご利用される皆さんには、大変ご不便をおかけします。



### 一畑バスの路線廃止への対応

昨年11月、一畑バス4路線(大東、荒島、御津、マリンプラザ)の

議員定数削減！34から31に！

昨年12月議会において議員定数等調査特別委員会(立脇通也委員長)を設置し、9名の委員をもって協議を重ねて来ました。この間、市内14団体へのアンケート調査やパブリックコメントを実施しました。私たち明政会は、①全国の同規模の市議会の定数の平均が28・5人である。②議長を除いた数が奇数となるよう定数は偶数にすべきである。③14団体のうち8団体が「30」が適当であるとの回答であり民意を尊重すべきであるという3つの理由により「30」を主張しましたが、4月22日に開催された臨時会において、定数34(現在欠員3名)から3名削減の「31」に決定しました。来年4月の改選から採用されます。

6月定例会日程

- 6月11日(火) 本会議(会期の決定、提案説明)
6月17日(月) 本会議(一般質問)
6月18日(火) 本会議(一般質問)
6月19日(水) 本会議(一般質問、議案質疑、委員会付託)
6月20日(木) 総務委員会・予算委員会総務分科会
6月21日(金) 教育民生委員会・予算委員会教育民生分科会
6月24日(月) 経済委員会・予算委員会経済分科会
建設環境委員会現地視察
6月25日(火) 建設環境委員会・予算委員会建設環境分科会
6月28日(金) 予算委員会(分科会長報告・質疑、討論、採決)
7月3日(水) 本会議(委員長報告・質疑、討論、採決)

令和5年度 定例会一般質問の内容

令和5年度6月定例会

今回は令和5年6月定例会に行った一般質問の主な内容を紹介します。

一畑百貨店の閉店について

(質問) 閉店までに市に対して何らかの相談があったのか。この結論についてどう思っているのか市長の見解を伺う。

(回答) 令和5年5月31日に一畑電気鉄道の足達社長から、令和6年1月14日をもって閉店する旨の報告を受けた。相談ということではなく、既に閉店を決めた上での報告であったので、本市として異を唱える立場にはなかった。私自身も子どもの頃から一畑百貨店には家族で行っていた。市長としても、また一市民としても松江の地で長年にわたって親しまれてきた一畑百貨店が閉店することは大変残念で、また寂しい思いを持っている。(上定市長)



Aーデマンドバスの考え方について

(質問) 松江の玄関口である駅前商業施設が空き家になってしまつことと大いに心配している。松江駅前再整備がもっと早く進んでいたら、もしかしたらこんなことにはならなかったのではないかと。市長の見解を伺う。

(回答) ご指摘のJR松江駅前の再整備については、平成28年からその必要性や課題などについて検討が開かれ、一畑百貨店を含めた関係者の皆様と意見交換を重ねてきていた。しかしながら、コロナ禍による地域経済の停滞や、そもそも将来の見通しの不透明感から検討が進ま

しなどを行っているところである。運行地区の拡大については、現時点で具体的な計画はない。今後、運行の実績を精査した上で、人口分布や他の交通手段などの地域特性も考慮し、導入地区の拡大を検討したいと考えている。(都市整備部長)

(質問) 導入先進地や松江市でのこれまでの運行の中で分かった今後の導入に向けた課題はないか。特に、交通事業者は、どこも人材不足で経営も厳しい状況だと聞いている。運行している事業者からの評価はどうか伺う。

全国的に見ても県をまたいで取り組む初の事例ということで注目を受けているが、実際市民の皆様がどういう実感を持っておられるかというところが極めて重要だと思う。その市民の皆様の中には、当然現状の事業者についても含まれると考えており、公共交通計画を考える中で、市民の皆様、また地元にとってどういった形がいいのかということを検討していきたいと考えている。(上定市長)

- このほか、次の2項目についても質問しました。
●ICT教育の推進と子どもたちの健康への配慮について
●マイナンバーカードについて

編集後記

皆さんは「暑熱順化」という言葉を聞かれたことがありますか。これは、暑さに強いからだを作るために、徐々にからだを暑さに慣れさせることを言います。例えば運動や入浴などで汗をかくことにより体温調節が上手くできるようになると、同じ暑さ指数であっても熱中症になりにくくなるそうです。年間千人以上が命を落とすと言われる熱中症。今夏も人命に関わる高温が予想されています。皆さんどうにかご自愛ください。

